

Title	第五十五巻第七号-第十二号総目次：昭和三十七年下半年
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.12 (1962. 12) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19621201-0089

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十五卷 第七号(第十二号) 総目次 (昭和三十七年下半年)

論 説

題名	著者	号	頁	通頁
独立戦争期ニュー・ヨークの土地問題——王党派財産の売却をめぐって	中村勝己	七	一	六一九
いわゆる西洋封建制度について	宇尾野久	七	二三	六四一
検地帳登録人をめぐって(一)	速水融	七	四四	六六二
カルドフ氏の成長理論	福岡正夫	八	一	七〇三
経済動学化の一起点——パンダレオーニの影響	松浦保	八	一五	七一一
財政学の基本的課題に関する疑問と解釈——財政学の前進——拠点の再検討	高木寿一	九	一	七七七
日本の法人税負担とその転嫁	古田精司	九	二九	八〇五
コミュニテイオーガナイゼーションの諸側面——社会事業の概念の問題と関連して	小島栄次	十	一	八五九
地方公共団体の「立地政策」——その基本的諸問題	高橋潤二郎	十	三九	八八七
アンシャンヌ・フランスにおける土地問題	渡辺國廣	十一	一	九六一
経済統合の理論と実態——経済統合理論の確立に関して	深海博明	十一	二一	九八一
建築労働者の実質賃金——一八三〇—一八九四年	佐野陽子	十一	四九	一〇〇九
転機に立つ失業対策	黒川俊雄	十二	一	一〇四五

アダム・スミスとエドマンド・バーク(二) ———— その社会観と経済思想をめぐって	白井厚	十二	二二	一〇六五
資料				
イギリス帝国主義と社会民主主義	飯田鼎	七	六〇	六七八
——— パーナード・ゼンメル「帝国主義と社会改革」一八九五年から一九一四年までのイギリス社会帝国主義思想の批判				
モーゼス・ヘスにおけるフランス社会主義 ———— 「社会主義と共産主義」をめぐって	野地洋行	八	三五	七三七
需給均衡と所得分配 ———— 厚生経済学的視点からの考察	丸尾直美	八	四九	七五一
十六・七世紀フランス農業史研究の問題点若干	渡辺國廣	九	四八	八二四
一八九五—一九九年の国際情勢に対するドイツ社会民主党の認識	正田庄次郎	九	六〇	八三六
西南ドイツの局地市場 ———— ロベルト・グラッドマンの所論を中心に	寺尾誠	十	五三	九一一
『神と人間との統一』 ———— ジョン・フランシス・ブレイ主著研究(1)	遊部久藏	十二	六三	一一〇七

研究ノート

社会政策研究と社会経済史学 ———— 岡田与好著「イギリス初期労働立法の歴史的展開」によせて	飯田鼎	十	六七	九二五
恐慌理論にかんする一論点 ———— 固定資本の再生産をめぐる諸論議について	井村喜代子	十	七八	九三六
ケインズ経済学における階級 ———— その社会思想的考察	村田光義	十二	四二	一〇八六

学 界 展 望

『重工業優先発展』原則・『農業基礎』理論と社会主義的再生産	平野絢子	七	七一	六八九
-------------------------------	------	---	----	-----

書 評

ED・グラスゴウ共著『アイルランド人およびチャーティストとしてのフーガス・オコンナー』	飯田鼎	八	六六	七六八
中村吉治・島田隆著『解体期封建農村の研究』	速水融	九	七三	八四九
矢木明夫・村長利根朗著『空想的社会主義の成立』	白井厚	十	九四	九五二
永井義雄著『イギリス急進主義の研究 ———— 空想的社会主義の成立』	川島楊子	十一	七七	一〇三七
国際連合経済社会局編『世界経済白書(一九六一年度)』	平野絢子	十二	七九	一一二三
天野元之助著『中国農業史研究』				

新 刊 紹 介

板垣与一著『アジアの民族主義と経済発展』 ———— 東南アジア近代化の起点	山本登	七	八〇	六九八
副島種典著『社会主義経済学の研究』	平野絢子	七	八〇	六九八
高桑純夫編『人権の思想』	白井厚	七	八一	六九九
西村孝夫著『経済学体系と歴史』	松浦保	七	八二	七〇〇
テリ・ギンズバリック著『人間能力の開発』	佐藤保	七	八三	七〇一
大来佐武郎訳『人間能力の開発』				
春秋社編集部編『日本経済の基礎構造』	安川正彬	八	七〇	七七一

J・ストレイチー著『帝国主義の終末』 明嘉彦他訳	飯田 鼎	八	七〇	七七二
飯田経夫著『経済成長と二重構造』	加藤 寛	八	七一	七七三
吉野俊彦著『日本銀行制度改革史』	飯田裕康	八	七二	七七四
広田司朗著『ドイツ社会民主党と財政政策』	大島通義	九	七八	八五四
近藤康男編『北洋漁業の経済構造』	高山隆三	九	七九	八五五
L・ヨハンセン著『経済成長の多部門分析』 西川俊作訳	浜田文雅	九	八〇	八五六
木村保重著『貿易と分配』	深海博明	九	八〇	八五六
江沢譲爾著『産業立地論と地域分析』	高橋潤二郎	九	八二	八五八
小島清著『世界経済と日本貿易』	矢内原 勝	十	九九	九五七
高島善哉 水田洋著『社会思想史概論』 平田清明	野地洋行	十	九九	九五七
田口憲一著『大企業は暗躍する』	佐藤芳雄	十	一〇〇	九五八
向坂逸郎著『マルクス伝』 (『マルクス・エンゲルス選集』13)	飯田裕康	十	一〇一	九五九
下村治著『日本経済成長論』	丸尾直美	十	一〇二	九六〇
森喜一著『日本労働者階級状態史』	飯田 鼎	十一	八一	一〇四一
水野正一著『日本の物価変動』	加藤 寛	十一	八二	一〇四二
福本和夫著『日本工業の黎明期』——日本マニュファクチュアの総合比較研究	尾城太郎丸	十一	八二	一〇四二
森喜一著『続日本労働者階級状態史』	飯田 鼎	十二	八四	一一二八
国際経済学会編『世界経済と国際通貨』 (国際経済 第十三号)	深海博明	十二	八五	一一二九
宮本義男著『金融資本への道』	飯田裕康	十二	八七	一一三一
吉野俊彦編『経済成長と物価問題』	丸尾直美	十二	八八	一一三二